

2008年漁業センサスの実施

平成20年11月1日実施予定

目的

- 我が国漁業の生産構造、就業構造、漁村等の漁業をとりまく実態を総合的に把握
- 新たな水産基本計画(平成19年3月策定)に基づく水産政策の推進に必要な基礎資料を提供
- 各種水産統計調査の母集団情報を整備

主な変更点

- 統計調査員による聞き取り調査を、個人情報保護意識の高まりから、調査客体が自ら記入する方法(自計申告)を基本とした調査に変更
- 国の職員により実施していた調査(漁業管理組織調査、海面漁業地域調査等)を国家公務員総人件費改革(職員が半減)により、アウトソーシング(調査員調査化)
- 個人情報保護意識の高まり、調査の簡素・効率化の観点から、漁業従事者世帯調査等を廃止
- 新規就業者数、漁家民宿の利用者数、まぐろ類養殖施設規模等を新たに把握
- 調査客体及び統計調査員の負担軽減を図る観点から、インターネットによる回答を導入(流通加工調査)

センサス

古代ローマに、人口などを調査するセンソールという役職があり、センソールが行う調査をセンサスと呼んでいたといわれています。

実施内容

○ 海面漁業調査

	調査対象	主な調査内容
・ 漁業経営体調査	漁業経営体	従事者数、漁船隻数・トン数、漁業種類、養殖施設規模
・ 漁業管理組織調査	漁業管理組織	管理対象魚種・漁業種類、参加経営体数、漁業管理の内容
・ 海面漁業地域調査	漁協	遊漁団体との連携、漁業体験等の参加人数

○ 内水面漁業調査

・ 内水面漁業経営体調査	漁業経営体	従事者数、漁船隻数・トン数、漁業種類、養殖施設規模
・ 内水面漁業地域調査	内水面漁協	組合員数、放流量、漁業体験等の参加人数

○ 流通加工調査

・ 魚市場調査	魚市場	売場面積、卸売業者数、買受人数、取扱数量・金額
・ 冷凍・冷蔵、 水産加工場調査	冷凍・冷蔵工場 水産加工場	事業種類、従業者数、冷凍・冷蔵能力、加工品生産量